

## 2年次で「トップサイエンスツアー」を実施しました。

◆今号の記事は、2年次主任の福岡先生が書いてくれました。

10月18日（火）に2年次生の行事「**トップサイエンスツアー**」を実施しました。このツアーは、地球環境についての理解を深め、「**持続発展可能な社会**」を意識し、行動していこうとする心を育てることを目的として実施しました。

生徒たちは、4つのコースから自分の興味のあるコースを選択し、見学・体験を行いました。全員が見学した「**積水ハウス(株)関東工場**」（古河市北利根8）では、「あしたの家」と呼ばれる**洞爺湖サミット（2008）**で公開された「**ゼロエミッションハウス**」や「木の家」と呼ばれる**横浜APEC（2010）**で公開された「**観環居**」がありました。生徒たちは、エネルギーをなるべく使わない、生態系を壊さない、廃棄物を出さないといった地球環境を守るために、住まいが果たす役割の重要性を学んでいました。

その他、「**森林総合研究所**」、「**国土地理院**」、「**農業環境変動研究センター**」を見学しました。どの施設においても、様々な分野の専門的な内容について学ぶことができ、たいへん有意義なツアーでした。以下に「**R80**」で書いた生徒の感想の一部を紹介します。

- ◆自分の身近にあふれる**コメと地球温暖化についての関係性**を学んだ。また、温暖化が進むとコメの生産量は増えるが、品質は落ちるということに驚いた。
- ◆トップサイエンスツアーを通じて、**将来を見据えることの大切さ**を知った。だから、今だけを見るのではなく、その先のことをよく考えて行動できるようにになりたいと思った。
- ◆積水ハウスのエコファーストの約束でCO2を減らすだけでなく**生態系**などにまで気を使っていた。**しかも、住む人の健康や快適な暮らし、安全**まで考えられていた。
- ◆最先端の技術を知ることができ、私たちが将来住む家にも使われるのが楽しみである。また、**私たちにもできる地球温暖化対策**もあるので取り組んでみたいと思った。
- ◆見学前は「再生可能エネルギーの利用は太陽光ぐらいだけだろう」と思っていた。しかし、**間取りや材料なども環境対策への工夫**だと知り、驚いた。



◆本校では「**R80**」が浸透してきました。このように行事の「**振り返り**」にも使えますね(^\_^)v